

北海道農業と消費者を「繋ぐ輪」。

つなぐわ

TSUNAGUWA

vol. 1

2022年12月20日 第1号

発行〇株式会社 HAL GREEN

特集 こんにちは!!
私たちが HAL GREEN です

特別企画

道内で「さつまいも生産」が大注目!!

由仁町 太田 裕之さん 園場



01

HAL GREEN
職員紹介

営業部

私たちの
仕事

**北海道から全国へ。生産地と
消費者とをつなぐ架け橋になります。**

私たちの仕事は、農産物を販売するだけでなく、その農産物に係る生産者の方々のご苦労・努力などをストーリーにして、ひとつ的作品として消費者にお届けすることです。

国際情勢や為替レートの大幅な変動により、農産物の価格だけではなく生産資材の高騰や人件費の上昇など厳しい環境下ですが、農業が基幹産業である北海道のために邁進します。



つなぐわ
vol. 1

HAL GREEN 広報誌
HAL GREEN 職員紹介 02
バイヤー＆売り場紹介 06
さつまいも情報 07
補助金情報 10

これまでの評価としては「品目によっては雨の影響で一部不良も見られるが、一般的にはまずまず良好」との感触をいただいています。引き続き選果体制を強化しながら、ご家庭の食卓に良いものをお届けできるよう社員一同しっかり取り組んでまいります。

さて、今回は記念すべき1号ということもあり、弊社社員をご紹介させていただきます。普段電話で話しているけど顔は?という社員がいたら見つけ出してください(笑)。

それではいよいよスタートします!



「つなぐわ」いよいよ発刊!

株式会社 HAL GREEN
代表取締役 中島英利

8月の創刊号から4ヶ月。生産者の皆さんとHAL GREENをつなぐ季刊広報誌「つなぐわ」が稼働します。

この広報誌を通じて様々な情報を皆様にお届けします。そして、生産者、販売先バイヤー、消費者の橋渡し役となり、また我々の想いもどんどん発信したいと思います。

今年の作柄は全道的に雨が多く、各地域でのご苦労が見られましたが、お預かりした作物はどんどん弊社の倉庫に積み上がり、販売先に向かって出荷されています。

これまでの評価としては「品目によっては雨の影響で一部不良も見られるが、一般的にはまずまず良好」との感触をいただいています。引き続き選果体制を強化しながら、ご家庭の食卓に良いものをお届けできるよう社員一同しっかり取り組んでまいります。



03

HAL GREEN 職員紹介

産地開発部

● 農産センター

私たちの
仕事

皆さまからお預かりした農産物を商品化しています。

玉ねぎ・馬鈴薯共用の選果機を備えた農産センターはHAL GREENの心臓です。最新のセンターと熟練したスタッフによる目利きで、玉ねぎ1日最大65t、馬鈴薯1日最大30tを選果しています。



02

HAL GREEN 職員紹介

産地開発部

● 産地グループ ● 商品管理室

私たちの
仕事

生産者の皆さんとHAL GREENをつなぐ窓口の役割を担うのが産地開発部です。



産地グループは、主に農産物の取扱要領策定・農産物の集荷や選果管理を担当しています。
また、生産者にとって有益と思われる新品目の導入支援や新技術・補助金等に関する情報提供なども行っています。

商品管理室は、商品品質管理や栽培履歴管理、特別栽培及びGLOBAL GAPの認証取得に向けたマニュアル整備、内部検査等を担当しています。

第1回 バイヤー& 売り場紹介

コストコホールセールジャパン株式会社
商品購買部 フレッシュフーズ
バイヤー

まず最初に HAL GREEN の生産者の皆様、コストコの会員様向けに北海道玉ねぎの生産・出荷いただき感謝申し上げます。またここ数年の北海道も異常気象や不安定な天候による作柄に大変な影響があったシーズンも継続的にお取組みいただき大変ありがとうございます。

弊社コストコは、欧米を中心にはアジア・ヨーロッパに会員制倉庫型店を展開しており、世界中で会員数は1億1800万人、倉庫店数は845です（2022年11月22日現在）。日本市場においては現在31倉庫店で、北海道には札幌倉庫店と石狩倉庫店がございます。今後10年内に倉庫店数を倍増する計画で、今年2023年には群馬県明和と大阪門真にオープンいたします。

コストコの使命は会員様に高品質の商品とサービスをできる限り低価格で提供し続けることです。今後の仕入れ量は年々

大きくなりますので、HAL GREEN 生産者様と共に、効率化と生産性を追求することを強く願っています。

その一例として石狩倉庫店と札幌倉庫店からコストコデポ（納品センター）で千葉県市原と兵庫県三木の2か所）に戻るコストコの車両を使用して HAL GREEN 恵庭センターから商品を引取り、コストコデポへの物流を組ませていただいています。

コストコは現在の需要や環境に対応しつつ、将来にわたる持続可能性を実現してまいります。HAL GREEN 生産者様のGAP認証の継続的なお取組みは、持続可能な農業＝持続的な消費を実現するための大きな役割だと思います。今後とも中長期的なお取引をよろしくお願ひいたします。



04

HAL GREEN 職員紹介

経営企画部

● 流通グループ

経営企画部は総務グループと流通グループで構成されています。

総務グループは主に経理・総務の業務を行っており、堅実な業務を心掛けています。今年度から月次決算による経営状況の見える化にチャレンジしており奮闘中です！

流通グループは受発注、運送の手配等の業務を行っています。営業と農産センターをつなぐコントロールタワーとして、皆さまからお預かりした農産物を確実に販売先へとお届けいたします！

堅実かつスピーディーに！！

私たちの仕事

道内で「さつまいも」が新規作物として大注目!!

到来！第4次焼き芋ブーム

江戸時代から日本人に愛されてきた「焼き芋」が、いま再び注目されています。その注目度を象徴しているのが、2022年2月23日から3日間に渡って開催された「さつまいも2022」です。コロナ対策のため入场制限をしながらの開催の中、約3万人の入場者が集まりました。ほくほくで甘味が強いさつまいもは、栄養価が高く、ビタミンCや食物繊維のほか、整腸作用を高めてくれる「ヤラピン」という成分が豊富なため「腸活」や「美容効果」などの健康を意識するニーズにもマッチ。また、カロリーは白ご飯とさほど変わらないものの、腹持ちが良い事から「ダイエット食」としても支持され、ヘルシーな食材として人気を集めています。国内では小型の焼き芋機が普及し、スーパーの店頭で年間を通して焼き芋を販売。また、じつとりねつとり系の「安納芋」や「べにはるか」の人気の高まりや、初期投資が簡単な背景もあり「専門店」も増えています。

日本のさつまいもは、国内だけでなく東南アジアを中心に入気が高まっています。タイやシンガポールでは、強い甘味や、ねつとりとした食感が特徴の日本のさつまいもを使った「焼き芋」がスイーツのような感覚で現地に受け入れられ「焼き芋ブーム」が到来し、海外からのさつまいもの引き合いが強まっています。農林水産省によると2021年のさつまいも輸出量は5600トンと10年間で10倍近く増えました。

供給不足が問題に

東南アジアなど海外向けの需要も高まってきたさつまいもですが、2018年秋から鹿児島県および宮崎県・沖縄県で、国内ではこれまで発生報告のなかった「さつまいも基腐病」が発生。2020年度には熊本県・福岡県・長崎県・高知県・静岡県・岐阜県、2021年度には茨城県・千葉県を含

主要生産地の「基腐病」被害もあり供給が追い付いていないさつまいも。新しい生産地として北海道が今、注目を集めています。寒冷地の北海道は生産に向いていません。北海道の気候に合わせた栽培方法や低温耐性品種の育成、貯蔵設備など課題はありますが、将来的に北海道の代表的な作物になる可能性を秘めています。

 作付面積 ランキング
1位 鹿児島県
2位 茨城県
3位 千葉県
4位 宮崎県
5位 その他

※令和2年産 農林水産省データより

む東日本に広がり拡大。そのため主要産地からの出荷量が減り、新しい生産地の育成が急務となっています。

海外で焼き芋ブームが到来！

(株)くしまアオイファームとの連携スタート!!



株式会社くしまアオイファーム 会社外観

世界一の さつまいも企業を目指して

さつまいも栽培 チャンス到来！

北海道で一緒にさつまいもを作りませんか？と、HAL GREENと話しを始めた2年が経ちました。

青果用さつまいもの取り扱いに特化し、自社生産に加え、約200名を超える契約農家と全国的に安定した生産体制の構築を推進し、国内外問わず自社で販路の開拓までを行っています。

「強い農業はこえていく。」を経営理念に時代や世代、世界を越え、関わる全ての人々が肥えていく（豊かになり、幸せになる）、世界一のさつまいも企業を目指しています。

株式会社くしまアオイファームは2013年12月法人設立しました。日本有数のさつまいも産地、「宮崎県串間市」に本社を置き、さつまいもの生産・加工・販売を自社で一貫して手掛ける農業法人です。

北海道で一緒にさつまいもを作りませんか？と、HAL GREENと話しを始めた2年が経ちました。

国産さつまいもは健康意識の高まりや品種開発、おいしさが拍車をかけ、日本でも海外でも需要が高止まりしています。一方、農業者の高齢化、疫病の流行が要因で生産は減少し続けています。チャンスだと思いますか？ 北海道には独自の気候風土、



株式会社くしまアオイファームさん 収穫風景

補助金情報

くしまアオイファーム×HAL GREENのさつまいも取組では栽培品種を限定しております。メインの品種となるのが「高系14号」という品種です。1年目の栽培時に収量面、品質面、食味面で北海道におけるさつまいも栽培の悪いイメージを払拭できるような栽培データとなり2年目もメイン品種として採用致しました。

平均収量 2・12t / 10a
平均A品率 87・5% (共に2年間平均値)
他品種平均収量 1・56t / 10a
他品種平均A品率 76・7% (参考)



俱知安町(有)東條産業さん さつまいも圃場

栽培品種の選抜

HAL GREENは、さつまいも生産を応援します。

北海道におけるさつまいも栽培 (くしまアオイファーム×HAL GREEN)

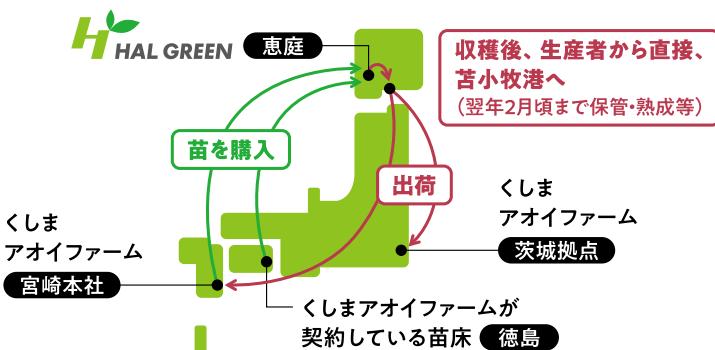
くしまアオイファーム×HAL GREENのさつまいも取組では栽培品種を限定しております。メインの品種となるのが「高系14号」という品種です。1年目の栽培時に収量面、品質面、食味面で北海道におけるさつまいも栽培の悪いイメージを払拭できるような栽培データとなり2年目もメイン品種として採用致しました。

平均収量 2・12t / 10a
平均A品率 87・5% (共に2年間平均値)
他品種平均収量 1・56t / 10a
他品種平均A品率 76・7% (参考)



いわゆる鳴門金時のこと。
本州では比較的収量不安定といわれるが、北海道での栽培は収量安定し、食感良好で熟成後、糖度が上がる。

くしまアオイファームとHAL GREENのさつまいもプロジェクトのスキーム



1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
作付協議				畝立施肥	定植	中間管理(除草のみ)			収穫・出荷		

国内におけるさつまいも状況として病気蔓延、作り手の離農等により需要に対しても供給が追いついていない状況です。近年北海道でも温暖化等が要因で既存作物がつくりづらくなっているとの声が皆様から上がっていたこともあり、くしまアオイファームさんよりお声がけいただきたことをきっかけに取組をスタートさせました。くしまアオイファームさんより栽培等のサポートをいただき、品種を限定することで収量や品質、食味の北海道における課題をクリアすることがみてまいりました。昨今道内でのさつまいも栽培面積が増えており、その結果、栽培面積が増えたことで低品質な苗の流通が目立ちますが良い状態の苗を皆様へお届けさせていただいているので安心して栽培に取り組んでいただける環境だと思います。まだまだ収穫作業効率化等の課題があり、皆様のお声を基に試行錯誤しながら進めていく部分もありますが1歩ずつ確実に北海道におけるさつまいも栽培拡大に向けて進んでおります。是非とも一緒に北海道産さつまいもを盛り上げましょう!

補助金コンサルタントの境です。
早ければ令和5年早々に令和4年度補正予算事業が始まり、2月頃から順次、令和5年度予算事業が始まる見通しです。

農林水産省の補助事業として近年もつとも注目されているのは、2021年から始まつた「みどりの食料システム戦略」だと思います。これは地球規模で進められているSDGs(持続可能な開発目標)と密接に関連しているので、今後5年以上、あるいは10年単位で継続される可能性が高い支援制度です。そこで今回は、「みどりの食料システム戦略」について解説します。

皆さんはG-CAPや特別栽培等に取り組んでいる方が多いので、すでに、みどりの食料システムの先端を歩まれています。これに磨きを掛けるような取り組みます。これで会員の皆さんができるようになります。

これは、地域の複数農業者+農業普及センターで協議会を作り、化学農薬肥料低減等の取り組みを行う経費を補助する制度です。最初のうちは年間300万円程度の補助ですが、初期の段階で開始した協議会は、モデルケースとして、将来的に様々な支援が受けやすくなるメリット生まれます。そのため、皆さんが地域のリーダーとして協議会を牽引し、特別栽培等の仲間を増やすことに活用する方法が考えられます。

ところでも、農林水産省の補助金は、複数農業者が集まらないと応募できない制度が多いのですが、経済産業省の補助金は単独事業者向けが大半です。何故でしょうか?

随分昔から、農業者の補助金は農協があるので、その名残りかもしれません。

経済産業省の補助金にしても、企業が自力で申請書を完成し、採択後の交付申



株式会社 フォスター・サービス

代表取締役 境毅

〒065-0022 札幌市東区
北22条東3丁目1番35号
ハイテクビル・さっぽろ225号室



本誌に関するお問い合わせ

〒061-1405 北海道恵庭市戸磯193-6 TEL: 0123-35-3131 FAX: 0123-35-3232

株式会社 HAL GREEN 担当 船木 [e-mail:d.funaki@halgreen.co.jp] ・ 片桐 [e-mail:y.katagiri@halgreen.co.jp]



想いを価値に



「安全」で「安心」できる
こだわりの農産物を日本全国にお届けするため
特別栽培農産物、GLOBAL G.A.P.の取組を通し
農業大国北海道より、安全で安心できるこだわりの農産物を
日本全国にお届けいたします。

株式会社 HAL GREEN

www.halgreen.co.jp